聖書日課 『からし種』 2026.5.17－24

5月17日（日） **ヨシュア12章**	**「ヨシュアの率いるイスラエルの人々がヨルダン川のこちら側、すなわち西側で征服した国の王は次のとおりである」（7節）。**12章は「征服された王のリスト」だが、各々の王の背後におびただしい民の命の犠牲があったことを覚えたい。沖縄の「平和の礎」が、敵味方関係なく沖縄戦で命を失ったすべての一人ひとりの名を刻んで追悼しているように。
18日（月） **ヨシュア13章**	**「わたしは、イスラエルの人々のために、彼らすべてを追い払う」（6節）。**イスラエルのガザ軍事侵攻を「聖書で正当化する人々」は、このヨシュア記を根拠に「神はガザをイスラエルに与えられた」と主張する。しかしイスラエルの選びはすべての民を造り主なる神をたたえる礼拝に導くため。軍事力では神賛美を生み出せない。仕える愛のみが共なる神賛美に導く。
19日（火） **ヨシュア14章**	**「レビ人は、カナンの土地の中には住むべき町と財産である家畜の放牧地のほか、何の割り当て地も与えられなかった」（4節）。**レビ人の嗣業は「イスラエルの神、主御自身」（13:33）であり、何の割り当て地も受けなかった。私たちも礼拝を第一とする時に「後ろに置くべきもの」との闘いを経験する。礼拝を守る厳しさを通し、主御自身に依り頼む恵みを学びたい
20日（水） **ヨシュア15章**	**「ユダの人々の部族が氏族ごとにくじで割り当てられた領土は、最も南にあって…」（1節）。**聖書地図で見ると、ユダの割り当ては一番広大に見えるが、実際にはその大部分は荒れ野であり、北の各部族の割り当て地の方が緑豊かな場所であった。しかし「くじで割り当てられた土地」に神の恵みが確かに伴うことをユダの人々は学んでいくように招かれたのである。

メール配信登録メール　senfkorn.obc@gmail.com　**大井バプテスト教会**

メール配信希望の方は名前とアドレスを明記の上、上記のアドレスまで

聖書日課 『からし種』 2026.5.17－24

21日 （木） ヨシュア 16章	**「ヨセフの子孫がくじで割り当てられた領土は、･･･山地を越えてベテルに至る」（1節）。**ベテルはヤコブが野宿したときに「あなたがどこへ行っても、わたしは共にいる」という神の約束を聴いた場所であり、ヤコブが「神の家（ベテル）」と名付けた場所であった（創世記28章）。私たちそれぞれにも、祈りを携え行き、神の語りかけを聴く「神の家」が与えられている。
22日 （金） ヨシュア 17章	**「ツェロフハド･･･には息子がなく、娘だけであった」（3節）。**ツェロフハドの娘たちのエピソードは民数記27章にも詳しく記録されている。「息子だけが父祖の土地を継ぐことができる」という古来の規律を修正に導いたツェロフハドの娘たち。その勇気ある行動と熱意を旧約聖書が大切に語り継ぐ背後に、多くの女性たちの涙と、粘り強い祈りがあったことを覚えたい。
23日 （土） ヨシュア 18章	**「イスラエルの人々の共同体全体はシロに集まり、臨在の幕屋を立てた」（1節）。**十二部族への土地分配の最中に、人々は臨在の幕屋をシロに立て礼拝場所を定めた。荒れ野の旅の間は一人のリーダーに従う一致が求められたが、定住が始まると各氏族の意識は自分優先になっていく。信仰共同体として礼拝を共にする大切さを私たちも覚えていきたい。
24日 （日） ヨシュア 19章	**「イスラエルの人々は自分たちの土地の中からヌンの子ヨシュアに嗣業の土地を贈った」（49節）。**シロの臨在の幕屋の入り口で、主の前においてくじを引いて、それぞれが受け継いだ嗣業の土地の分配が終わると、イスラエルの人々は指導者ヨシュアに自分たちの中からエフライムの山地に嗣業の土地を彼に与えた。これは主の命令に従って行われたという。

大井バプテスト教会